

糖尿病・内分泌内科

1. 概要

当科の診療内容は、糖尿病と各種内分泌・代謝疾患である。糖尿病については12名に増えた日本糖尿病療養指導士有資格者のサポートを得て、教育入院に加えて療養指導外来、フットケア外来、糖尿病透析予防指導外来などを設置している。1型糖尿病を中心にプログラム付きインスリンポンプ療法(CSII)を行うほか、24時間の血糖変動を確認し、治療に生かすCGM(持続血糖測定)も実施している。また、患者会として日本糖尿病協会の支部が設置され、11月の全国糖尿病週間に合わせて講演会を開催した。ただし、外来糖尿病教室については、運営形態の見直しが必要なため、年度後半より一旦、休止としている。

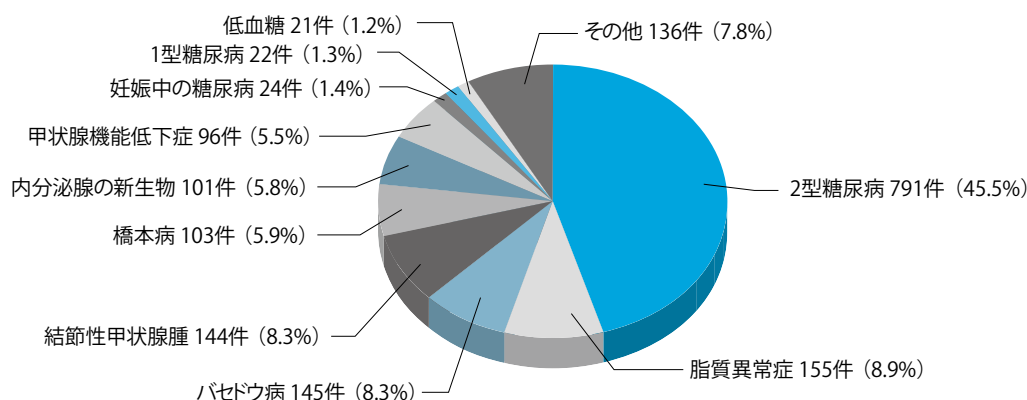
各種内分泌疾患に対しては各種負荷試験、画像診断を元に正確な診断を行い、一般外科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科などとの密接な連携の元に治療を行っている。なお、放射線科には原発性アルドステロン症に対する選択的副腎静脈サンプリングも依頼している。

人事面では当科の創立にあたった水谷直広医長が9月に転出し、4月から赴任した萩本繁医長が後を引き継いだ。

(部長 山守 育雄)

●疾患別頻度

総件数：1,738件



学会発表（医局）

<糖尿病・内分泌内科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
①	全国糖尿病週間にあわせた糖尿病啓発活動を通じて(第2報)	京極 多見	第56回日本糖尿病学会	2013/5/16
②	マウス視床下部器官培養において小胞体ストレスはグルコシルチコイドシグナルを減弱させる	萩本 繁	第56回日本糖尿病学会	2013/5/18
③	歯科医師会と連携した糖尿病啓発活動を通じて第2報	榊原 沙知	第87回日本糖尿病学会中部地方会	2013/10/6
④	インスリン注射部位に硬結を認め注射手技指導を実施した10例の症例経過	村松 明佐美	第87回日本糖尿病学会中部地方会	2013/10/6
⑤	呼吸不全を呈し気管挿管化人工呼吸管理を必要とした肥満低換気症候尾群の1例	笠井 貴敏	第87回日本糖尿病学会中部地方会	2013/10/6

研究会発表（医局）

<糖尿病・内分泌内科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	糖尿病・内分泌内科における治療の現状	水谷 直広	豊橋DM会	2013/1/28
2	豊橋医師会「糖尿病診療に関するアンケート」集計結果から	水谷 直広	豊橋内科医会	2013/2/14
3	当院での糖尿病教育～教育入院・外来教室	金田 成康	糖尿病サークルin Toyohashi	2013/3/4
4	糖尿病病診連携、早期介入の可能性	水谷 直広	糖尿病サークルin Toyohashi	2013/3/4
5	DPP4阻害薬とランタスの併用効果	山口 昇子	第23回豊橋糖尿病セミナー	2013/3/13
6	呼吸不全を呈し気管挿管化人工呼吸管理を必要とした肥満低換気症候尾群の1例	山口 昇子	第62回東海糖尿病治療研究会	2013/11/7

講 演（医局）

<糖尿病・内分泌内科>

※丸数字は共同講演者を示す

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	年月日
1	豊橋市民病院におけるトラゼンタの使用経験	水谷 直広	東三河トラゼンタ錠糖尿病学術講演会	2013/4/4
2	理事会糖尿病教室	水谷 直広	豊橋内科医会理事会講演会	2013/8/8